

上位の政策名	政策目標 8 文化による心豊かな社会の実現	
施策名	施策目標 8 - 4 国際文化交流の推進による芸術文化水準の向上、文化を通じた国際貢献、諸外国との相互理解の増進	
主管課及び関係課(課長名)	(主管課)文化庁国際課(課長:吉尾啓介) (関係課)文化庁芸術文化課(課長:河村潤子)/伝統文化課(課長:高橋誠)/美術学芸課(課長:湯山賢一)/記念物課(課長:大木高仁)/建造物課(課長:荻谷勇雄)	
基本目標及び達成目標	基本目標 8 - 4 (基準年度:13年度 達成年度:17年度) ----- 我が国の文化芸術活動の水準を向上させ、文化を通じた国際貢献を行うとともに諸外国との相互理解の増進を図るために、文化芸術振興、文化財保護における国際文化交流を推進する。	達成度合い又は進捗状況 概ね順調に進捗
	達成目標 8 - 4 - 1(基準年度:13年度 達成年度:17年度) ----- ハイレベルな海外の芸術家・文化財専門家を招へいし、国際文化交流のためのネットワークの構築を図る。	概ね順調に進捗
	達成目標 8 - 4 - 2(基準年度:13年度 達成年度:17年度) ----- 我が国の芸術団体が海外公演を行うことにより、文化芸術振興及び国際文化交流を推進する。	概ね順調に進捗
	達成目標 8 - 4 - 3(基準年度:13年度 達成年度:17年度) ----- 海外の芸術団体と我が国の芸術団体とが共同制作公演を開催し、文化芸術振興及び国際文化交流を推進する。	概ね順調に進捗
	達成目標 8 - 4 - 4(基準年度:13年度 達成年度:17年度) ----- 世界の文化遺産保護における国際協力について我が国の経験や技術を活用するために、文化財専門家の派遣や招へい研修の充実を図る。	概ね順調に進捗
現状の分析と今後の課題	各達成目標の達成度合い(達成年度が到来した達成目標については総括)	達成目標 8 - 4 - 1 指標を踏まえ分析を行った結果、招へい者数は、概ね順調に進捗しているが、国際文化交流のためのネットワークの構築を目指し、専門家の招へいの機会を増加させるために、引き続き支援の継続及び拡充を図る必要がある。 達成目標 8 - 4 - 2 指標を踏まえ分析を行った結果、海外公演数は増加傾向にあり、順調に進捗しているが、今後さらに文化芸術の振興及び国際文化交流の推進を目指し、一国でも多くの国において我が国の海外公演が開催されるよう、引き続き支援の継続及び拡充を図る必要がある。 達成目標 8 - 4 - 3 指標を踏まえ分析を行った結果、共同制作公演数は、概ね順調に進捗しているが、今後さらに文化芸術の振興及び国際文化交流の推進を目指し、一国でも多くの国と共同制作公演を実現させるために、引き続き支援の継続及び拡充を図る必要がある。 達成目標 8 - 4 - 4 指標を踏まえ分析を行った結果、招へい者数は、概ね順調に進捗しているが、今後さらに文化財専門家の派遣や招へい研修の機会を増加させるために、引き続き支援の継続及び拡充を図る必要がある。
	基本目標達成に向けての進捗状況	平成 14 年度の基本目標の達成度合いについては、各達成目標の達成度合いが良好であったことから、十分と考えているが、引き続き国際文化交流の推進による芸術文化水準の向上等を図っていく必要がある。
	今後の課題	日本への外国人旅行者数が世界第 35 位(2001年)という低水準にある現状は、言語・情報・物価など、様々な要因があると考えられるが、日本文化の魅力が対外的にまだ十分に浸透していないことを示すものとする。そのため、今後さらに我が国の文化的イメージを高めしていく必要がある。
	評価結果の15年度以降の政策への反映方針(政策評価法第11条に基づく総務大臣への通知事項)	我が国の国際文化交流は、これまで各芸術家・芸術団体等の努力により個別に行われることが中心であったため、分野的あるいは地域的偏りが生じ、継続性に欠ける傾向があるとされてきた。このため文化庁長官の「国際文化交流懇談会」(座長:平山郁夫東京芸術大学長)において、本年3月28日に今後の国際文化交流の推進についての「基本的方向」及び日本文化の魅力や総合的な発信の強化等の「具体化すべき施策」を示した報告書がとりまとめられた。 今後の課題で示したとおり、現状では、日本文化の魅力が対外的にまだ十分に浸透しているとは言えない。そのため、平成15年度予算において、伝統文化など地域文化活動の推進による

⋮	活力ある地域の再生及び日本文化の発信による国際文化交流の推進を図るために「日本文化の魅力」発見・発信プランを創設するなど様々な施策の実施を予定している。					
指標	指標名	1 0	1 1	1 2	1 3	1 4
	ハイレベルの芸術家・文化財専門家の招へい人数 (達成目標 8 - 4 - 1 関係)	31	31	34	31	38
	我が国の芸術団体による海外公演数 (達成目標 8 - 4 - 2 関係)	109	125	164	177	207
	海外の芸術団体と我が国の芸術団体との共同制作 公演数 (達成目標 8 - 4 - 3 関係)	94	131	115	132	138
	文化財修復等に関する招へい者数 (達成目標 8 - 4 - 4 関係)	16	23	35	37	37
備 考						

施策目標 8-4 国際文化交流の推進による芸術文化水準の向上,文化を通じた国際貢献, 諸外国との相互理解の増進

今日のグローバル化の中で、文化活動においても国際的な広がりが急速に進展してきている。

**達成目標 8-4-1**

ハイレベルな海外の芸術家・文化財専門家を招へいし、国際文化交流のためのネットワークの構築を図る。

<主な事業>

・芸術家・文化財専門家招へい事業

外国人芸術家・文化財専門家等との国際ネットワークの構築

**達成目標 8-4-2**

我が国の芸術団体が海外公演を行うことにより、文化芸術振興及び国際文化交流を推進する。

<主な事業>

・国際芸術交流支援事業 (二国間交流・海外公演)

文化発信を通じた我が国の顕在性の向上、文化芸術活動水準の向上

**達成目標 8-4-3**

海外の芸術団体と我が国の芸術団体とが共同制作公演を開催し、文化芸術振興及び国際文化交流を推進する。

<主な事業>

・国際芸術交流支援事業 (国際共同制作公演)

文化財保護に関する国際協力について我が国の経験や技術を活用する

**達成目標 8-4-4**

世界の文化遺産保護における国際協力について我が国の経験や技術を活用するために、文化財専門家の派遣や招へい研修の充実を図る。

<主な事業>

・在外日本古美術品に係る博物館・美術館研究協力事業

・アジア諸国文化財の保存修復等協力事業

・文化財保護分野・博物館等における地方自治体職員の国際協力・交流の支援

国際文化交流の推進による芸術文化水準の向上、文化を通じた国際貢献、諸外国との相互理解の増進

国際社会での尊敬の獲得、芸術文化の水準の向上、新しい文化的価値の創造、日本文化の再認識、豊かな国民生活の実現、日本文化への理解の増進、多様な文化の基盤となる文化財の保護